

編集後記

平成26年度のアニュアルレポートをお届けします。

この年度内にあった京都医療センター最大の出来事は、第2外来棟が完成したことです。6月9日に竣工式を行い、PET/CTを新たに稼働させ、がん拠点病院としてさらなる躍進を目指します。それに負けず劣らずの大きな出来事は、手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)の設置です。8月20日に第一例目の前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を施行し、その後順調に症例を重ねています。また9月には新しい心血管撮影装置を備えた心血管治療センターを立ち上げ、同時に脳血管、腹部血管に対しても新血管撮影室を開設し、心血管、脳血管障害に対してもさらにレベルの高い医療を提供できるようになりました。

地域に対する情報発信として京都医療センター地域医療連携フォーラムを、第3回は「がん診療～総合力の京都医療センター～・診断から緩和ケアまで」、第4回は「健康寿命を延ばす医療」というテーマで、それぞれ開催しました。当院の診療科を外の医療機関の方々に紹介する目的で開催している地域医療連携フォーラムですが、院内の参加者も他の診療科がどのような診療をしているのか初めて知って驚かされることもありました。同様のことがこのアニュアルレポートについてもいえます。1年間の院内の業績をまとめることで、お互いの活躍を認識し切磋琢磨することにつながるものと考えます。

京都医療センターがこれからも発展・革新していくことで地域に貢献できるように、スタッフ一同一丸となって邁進してまいります。毎年発行するアニュアルレポートがその歩みの足跡となるよう、広報委員会も努力していきます。

広報委員会

瀬田公一 塚原徹也